



“能力”を活かす 働き方

障がいのある若者の“はたらく場”づくり

少子高齢化による将来の人口減少が懸念される日本。

「働き手」の確保が重要な課題となっています。

そうしたなか「障がいのある若者」の働く場の創出を積極的に行う会社があります。“できること”を評価し“仕事”として担当してもらうのです。そこで働く若者は“やりがい”を体感し、イキイキとしています。そして一人ひとりの個性が集まると、そこには魅力的な「商品・サービス」が誕生するのです。